

知らなかった行田に出会う場所

まちに残る歴史や文化、季節が彩る風景。行田を歩くと、何気ない日常の中から新しい発見が少しずつ見えてきます。



1 おしじょう 忍城

忍城は、15世紀後半に築城され、石田三成の水攻めにも耐え、「浮き城」としても知られている名城です。また、映画やドラマのロケ地としても多くの人々を魅了し、賑わいを見せています。



関東七名城の一つです

押さえとおきたい！ 忍城のみどころ



忍の歴史を今に伝える
じしょう

忍城の時鐘

文政6(1823)年松平忠義が桑名から運んできたもので、その音は忍藩自慢の一つだったといわれています。現在、実物の鐘は郷土博物館内に展示されており、野外の鐘楼には模倣された鐘が吊るされています。



まちの美しさを一望！
ごさんかいやぐら

御三階櫓

現在ある「御三階櫓」は、明治時代に取り壊されたものを昭和63(1988)年に再建したものです。内部は郷土博物館の展示室の一部となっていて、最上階からは市内を一望できます。



質感を味わう

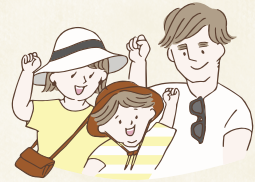
櫓の石垣

本丸跡地にある忍城址には、かつて櫓に使用されていた石垣の石が置いてあります。江戸時代「老中の城」として賑わった往時の風格に思いをはせてみては？

忍城History

室町時代の15世紀後半、成田氏によって築城されたと伝えられている「忍城」。天正18(1590)年、豊臣秀吉が小田原の北条氏を攻めたとき、当時の城主であった成田氏長は北条氏に味方しました。氏長が小田原城に籠城中、石田三成が軍勢を引き連れ忍城を包囲し、全長14キロメートルに及ぶ堤を築き、周辺の河川の水を引き入れて水攻めにしたといわれています。しかし、水が増しても忍城は落城しないことから「城が浮くからだ」とうわさされ、「浮き城」という別名が生まれたと伝えられています。

忍城は、北条氏が降伏したのち開城し、成田氏の支配は終わりを告げましたが、江戸時代には阿部家や松平家などが城主を勤め、忍藩十萬石の拠点となりました。



2 郷土博物館



忍城本丸跡地に昭和63(1988)年2月に開館しました。館内には古代から現代まで、実物資料を数多く展示しています。また、博物館周辺は公園として整備され、四季折々の自然に囲まれた癒しのスポットになっています。

所在地 本丸17-23

開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

問合せ 048-554-5911

※休館日や料金などは二次元コードからご確認ください。



郷土博物館
詳細

3 さきたま古墳公園

埼玉地区は、東国古代史の宝庫であり、埼玉県名発祥の地とされています。かつて「百塚」の地名が残るほどの大古墳群だった「埼玉古墳群」は、昭和13(1938)年に国史跡に指定され、昭和42(1967)年からは「さきたま風土記の丘」としてこの一帯の整備が進められ、令和2(2020)年には、特別史跡に指定されました。

約39.6ヘクタールの園内には、国宝「金錯銘鉄剣」が出土した稲荷山古墳、将軍山古墳、丸墓山古墳、二子山古墳など9基(A~I)の大型古墳があり、2時間ほどで古墳を見学できます。

A 丸墓山古墳

直径105メートル、高さ17.2メートルの円墳。豊臣秀吉が天下統一を進め石田三成が忍城を水攻めする際、頂上に陣を張ったといわれています。



B 稲荷山古墳

埼玉古墳群の中で2番目に大きな前方後円墳で、「金錯銘鉄剣」が出土したことで全国的に知られています。



C 将軍山古墳

後円部に建てられた展示館には、残存していた横穴式石室と出土した埋葬品を当時の状態で復元、保存しながら展示。実物の横穴式石室を建物の中から直接みることができる全国でも珍しい施設です。

D 二子山古墳

埼玉古墳群の中で、最大の規模を誇る前方後円墳です。二子山の名の通り、側面から見ると二つの山のように見えます。墳丘への立ち入りはできませんが、中堤を歩いて一周することができます。



4 県立さきたま史跡の博物館

埼玉古墳群から出土した土器やはにわを展示しています。館内には国宝「金錯銘鉄剣」も展示されており、古代ロマンをより近くに感じることができます。



さきたま史跡の博物館 詳細

5 はにわの館

古墳の上や周囲に置かれていた焼き物「はにわ」。そんなはにわを気軽に作ることができます。指導員が親切丁寧に教えてくれるので、初めての方でものんびりとはにわを作ることができます。

※乾燥させたり窯で焼いたりするので、完成まで1カ月ほどかかります。



はにわの館 詳細

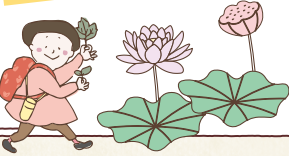


6 古代蓮の里

42種類約12万株の花蓮の神秘的な美しさを満喫できる人気の高いスポットです。園内には古代蓮会館や、水生植物園、水鳥の池、牡丹園やお花見広場などがあり、冬にはイルミネーションが輝きます。



ここがスゴイ！ 時を超えた行田蓮



花卉の数が少ない原始的な花で、1400年～3000年前の蓮であるといわれています。その昔、公共施設建設工事の際に、偶然出土した種子が自然発芽し池で開花しているのを発見。地中深くに眠っていた蓮の実が出土し、自然発芽して一斉に開花したことは極めて珍しいそうです。

7 古代蓮会館

館内には、行田蓮の成長の様子が分かる観察コーナーや、自然を再現したジオラマ展示室などがあり、楽しみながら自然について学ぶことができます。また、地上50メートルの展望室からは、関東平野を取り囲む山々を一望できます。



時 間 ■通常期(6月下旬～8月上旬以外)
午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

■蓮の開花期(6月下旬～8月上旬)
午前7時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

※混雑状況により、時間は変更となる可能性があります。

休 館 日 月曜日(祝日は営業)、祝日の翌日(土・日曜日は営業)、
年末年始 ※蓮の開花期は無休

入 館 料 大人(高校生以上)400円、小人(小・中学生)200円



古代蓮会館
詳細



花手水のまち 行田



華やかな花々がゆらめく姿が魅力的な「花手水」。「参拝に訪れる方に癒しを提供したい」という思いから、神社を中心に花手水でのおもてなしや関連イベントを行っています。花手水のまち・行田をぶらり歩いてみてはいかがでしょうか？



What's? 花手水

神社やお寺などで参拝時、水をすくって身と心を清める手水舎の鉢に花を浮かべたものです。花手水には季節の旬な花々を浮かべるのが定番となっており、彩り豊かなのも特徴です。



行田花手水week

令和2(2020)年の秋からスタートした行田市の花手水イベントです。行田八幡神社で始まったこの花手水は、神社にとどまらず、商店街や観光名所、商店や民家などでも飾られています。花手水スポットも70カ所を超え、まちに彩りを添え続けています(令和7年7月現在)。

開催日時 毎月1日～14日

会場 右のマップでご確認ください。

※7～9、1、2月はお休み。

市内の花手水スポットや
スペシャルムービーを
チェック！



行田花手水HP



おすすめ花手水スポット

※花手水スポットは諸事情(店舗休日・天候等)により
展示していないことがありますのでご了承ください。



行田花手水散策マップ

8 水城公園

ツツジ



サクラ



ショウブ



アジサイ

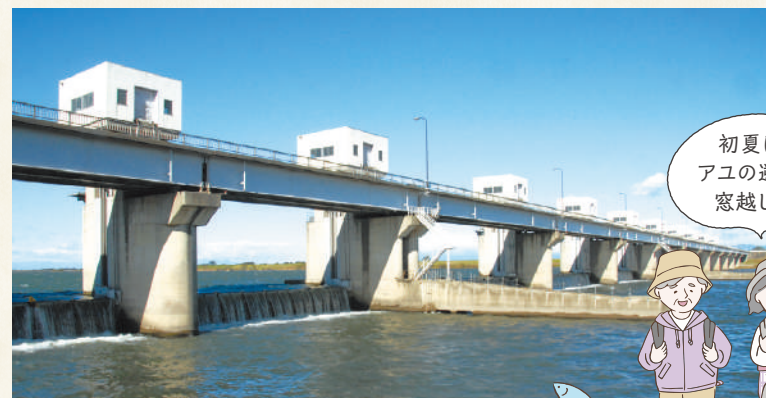


昭和39(1964)年開園した歴史ある公園です。かつての忍城の水堀を利用し、中国庭園の手法を取り入れた公園として整備されています。

園内では、四季折々、さまざまな花が楽しめます。



初夏には
アユの遡上が
窓越しに!



9 利根大堰

昭和43(1968)年に完成し全長約500メートル、河口からは154キロメートルの地点にあります。12の水門で利根川の水をせき止め、埼玉県や群馬県、東京都へ水道用水、工業用水や農業用水などを供給しています。「大堰自然の観察室」からは、利根大堰に設置している魚道を上っていくアユなどいろいろな魚を見ることができます。

時 間 午前9時～午後5時(10月～1月は午後4時半まで)

問 合 せ 048-557-1501

(独立行政法人水資源機構利根導水総合管理所)



「大堰自然の観察室」の
状況はこちらから